

# 四半期報告書

(第28期第2四半期)

自 平成24年7月1日  
至 平成24年9月30日

株式会社ピエトロ

(E00513)

# 目 次

頁

表 紙

## 第一部 企業情報

### 第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 ..... 2
- 2 事業の内容 ..... 3

### 第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク ..... 4
- 2 経営上の重要な契約等 ..... 4
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 ..... 4

### 第3 提出会社の状況

#### 1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 ..... 6
- (2) 新株予約権等の状況 ..... 6
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 ..... 6
- (4) ライツプランの内容 ..... 6
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 ..... 6
- (6) 大株主の状況 ..... 6
- (7) 議決権の状況 ..... 7

#### 2 役員の状況 ..... 7

### 第4 経理の状況 ..... 8

#### 1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 ..... 9
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ..... 11
  - 四半期連結損益計算書 ..... 11
  - 四半期連結包括利益計算書 ..... 12
- (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ..... 13

#### 2 その他 ..... 16

## 第二部 提出会社の保証会社等の情報 ..... 17

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成24年11月13日
【四半期会計期間】	第28期第2四半期（自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日）
【会社名】	株式会社ピエトロ
【英訳名】	PIETRO Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 村田 邦彦
【本店の所在の場所】	福岡市中央区天神三丁目4番5号
【電話番号】	(092)716-0300（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 池田 邦雄
【最寄りの連絡場所】	福岡市中央区天神三丁目4番5号
【電話番号】	(092)716-0300（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 池田 邦雄
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第27期 第2四半期 連結累計期間	第28期 第2四半期 連結累計期間	第27期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高 (千円)	5,699,976	4,940,342	11,062,388
経常利益 (千円)	467,337	290,136	446,597
四半期(当期)純利益 (千円)	226,023	135,027	162,822
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	224,106	133,494	158,632
純資産額 (千円)	3,191,811	3,158,778	3,126,284
総資産額 (千円)	7,469,113	7,538,687	7,337,608
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	40.42	24.16	29.12
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	42.6	41.9	42.5
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	624,727	413,765	659,181
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	29,951	△92,736	97,711
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△360,622	△88,490	△542,505
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	984,210	1,141,188	906,776

回次	第27期 第2四半期 連結会計期間	第28期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	15.81	15.96

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、野菜などを取り扱う食品事業を行っております株式会社ピエトロフレッシュサプライ（平成24年8月3日 株式会社大八屋より商号変更）の株式を取得したことにより、同社を連結子会社といたしました。

これは既存事業とのシナジー効果と確実な業務運営、効率化を図るために必要な方策と判断したものであります。

この結果、平成24年9月30日現在では、当社グループは、当社、連結子会社3社（国内2社、海外1社）により構成されることとなり、当第2四半期累計期間におけるセグメントの主な事業内容の変更と主要な関係会社の異動は次の通りであります。

### <食品事業>

株式会社ピエトロフレッシュサプライは、野菜の仕入・卸販売とカット野菜の販売を主業務としております。当社向けにはドレッシングの主原料である玉葱販売、皮むき業務の受託を行っており、当社の連結子会社であります。

### <通信販売事業>

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

### <レストラン事業>

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

### <生産管理事業>

前連結会計年度にて日清オイリオグループ株式会社との生産管理契約を解消しているため、同事業セグメントを廃止いたしました。

### <その他（本社ビル等の賃貸）事業>

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスク、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要の下支えがあるものの、長引く円高やデフレにより景気が低迷し、先行き不透明感が増す状況で推移いたしました。

食品業界及び外食業界におきましては、消費者の節約志向が続くとともに、穀物相場の上昇等による原材料コストへの影響が懸念され、厳しい環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、さらなるブランド価値向上を目指し、付加価値の高い商品やサービスのご提供に取り組んでまいりました。

#### ・売上高

食品事業におけるドレッシング商品の売上が好調に推移したものの、受託事業の一部がなくなったことなどから、49億40百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

#### ・利益面

売上総利益は、食品事業が寄与して前年同期比増益の28億63百万円（前年同期比3.3%増）となったものの、アンテナショップの新設やテレビコマーシャルの放映など、ブランド訴求のため積極的な情報発信を行ったことから販管費が増加し、営業利益は3億円（前年同期比34.7%減）、経常利益は2億90百万円（前年同期比37.9%減）、四半期純利益は、1億35百万円（前年同期比40.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①食品事業

健康志向の高まりから、コレステロール0（ゼロ）の主力ドレッシング（オレンジキャップ、グリーン）やオリーブオイルを使用した新シリーズのドレッシングの売上が伸びました。特に、6月に発売したドレッシング「塩麹オリーブオイル」は、引き続きご好評をいただいております。利益面では、原価率の上昇があったものの増収効果により増益となりました。

以上の結果、売上高は30億86百万円（前年同期比11.3%増）、セグメント利益は10億31百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

<平成24年度 新商品>

発 売 時 期	商 品 名
平成24年6月	ドレッシング 「塩麹オリーブオイル」
平成24年9月	ドレッシング 「しょうがオリーブオイル」 パスタソース 「蟹のペペロンチーノ」

#### ②通信販売事業

プレミアム商品であるピエトロファーマーズシリーズの新商品を投入し品揃えの充実を図る一方、広告を控えるなど効率的な販促活動を実施してまいりました。しかしながら、健康サポート関連商品の競争激化や仕入商品の原価率アップなどにより、前年同期と比べ、売上、利益ともに減少いたしました。

以上の結果、売上高は3億14百万円（前年同期比6.9%減）、セグメント損失は2百万円（前年同期は13百万円のセグメント利益）となりました。

<平成24年度 通信販売新商品>

発 売 時 期	商 品 名
平成24年4月	パスタソース 「イカスミのブラックカレーソース」 スープ 「2種のオリーブと香味野菜のコンソメスープ」 冷凍ドリア（2種） 村田厨房直送便「春便り」
平成24年7月	冷製パスタソース 「夏野菜のサフランジュレソース」 羽根ピザ（3種類） 村田厨房直送便「夏便り」

### ③ レストラン事業

季節のメニューとして「春のおいしさフェア」や「冷製パスタフェア」などフェアメニューのご提供や、新シリーズとして「夏のイタリー麺」をラインナップに加えるなど、パスタ専門店としてメニュー強化を行ってまいりました。また、食品事業との連動キャンペーンや福岡地区における特典付き会員サービス「ピエトロクラブ」の販促などをおして、集客力の向上を図ってまいりました。

以上の結果、売上高は、既存店（直営）は前年売上を維持したものの5店舗（直営）の閉店の影響などにより、14億64百万円（前年同期比7.4%減）となりました。一方、セグメント利益は、販管費の削減など収益改善を図り、35百万円（前年同期比152.2%増）となりました。

#### <平成24年度 レストラン 季節のメニュー>

発 売 時 期	商 品 名
平成24年 4 月	春のおいしさフェア
平成24年 5 月～8 月	夏のイタリー麺
平成24年 6 月～8 月	冷製パスタフェア
平成24年 9 月	カルボナーラフェア

### ④ その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、本社ビルのテナント入居により、売上高は75百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益は36百万円（前年同期比25.0%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億1百万円増加し、75億38百万円となりました。これは主に現金及び預金が2億77百万円増加する一方、売掛金が72百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ1億68百万円増加し、43億79百万円となりました。これは長短借入金の増加1億30百万円、未払法人税等が58百万円、未払金が52百万円、役員退職慰労引当金が52百万円それぞれ増加する一方、買掛金が1億49百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ32百万円増加し、31億58百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億円及び四半期純利益1億35百万円の計上によるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億34百万円増加し、11億41百万円となりました。この主な要因は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、食品事業において主力ドレッシングの販売が好調だった為、税金等調整前四半期純利益が2億83百万円計上されましたが、仕入債務の減少等により前年同四半期に比べ2億10百万円減の4億13百万円の収入となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得、敷金及び保証金の差入による支出などにより、前年同四半期が29百万円の収入だったのに対し、92百万円の支出となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出がある一方、新たに長期借入を行ったことなどにより、88百万円の支出となり、前年同四半期に比べ2億72百万円の支出減となりました。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費は販売費及び一般管理費に含まれており、その総額は25百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,000,000
計	18,000,000

###### ②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月13日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	5,591,630	5,591,630	東京証券取引所市場第二部	単元株式数100株
計	5,591,630	5,591,630	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	—	5,591,630	—	474,400	—	516,922

##### (6)【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
村田 邦彦	福岡市南区	1,523	27.24
日清オイリオグループ株式会社	東京都中央区新川1丁目23番1号	1,120	20.02
西川 啓子	福岡市西区	374	6.69
株式会社西日本シティ銀行	福岡市博多区博多駅前3丁目1番1号	203	3.63
株式会社福岡銀行	福岡市中央区天神2丁目13番1号	70	1.25
ピエトロ従業員持株会	福岡市中央区天神3丁目4番5号	65	1.16
ピエトロ取引先持株会	福岡市中央区天神3丁目4番5号	57	1.02
第一生命保険株式会社 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	東京都千代田区有楽町1丁目13番1号 (東京都中央区晴海1丁目8番12号 晴海アイランドトリトンスクエアオ フィスタワーZ棟)	52	0.93
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	35	0.62
株式会社トーヨー	神戸市東灘区向洋町西5丁目9番	35	0.62
計	—	3,536	63.24

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 400	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 5,590,300	55,903	—
単元未満株式	普通株式 930	—	1 単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	5,591,630	—	—
総株主の議決権	—	55,903	—

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式97株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
株式会社ビエトロ	福岡市中央区天神 三丁目4番5号	400	—	400	0.01
計	—	400	—	400	0.01

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	956,312	1,233,611
預け金	75,710	63,424
売掛金	1,266,434	1,194,406
商品及び製品	72,909	81,912
仕掛品	4,622	4,609
原材料及び貯蔵品	117,781	115,463
その他	220,885	157,255
貸倒引当金	△6,994	△750
流動資産合計	2,707,663	2,849,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,621,622	1,608,959
土地	1,965,002	2,006,202
その他(純額)	167,144	177,784
有形固定資産合計	3,753,769	3,792,947
無形固定資産		
	14,194	12,967
投資その他の資産		
敷金及び保証金	470,858	464,679
その他	407,241	440,381
貸倒引当金	△16,119	△22,221
投資その他の資産合計	861,979	882,839
固定資産合計	4,629,944	4,688,753
資産合計	7,337,608	7,538,687
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	666,016	516,779
短期借入金	1,400,000	1,450,000
1年内返済予定の長期借入金	218,490	353,420
未払金	426,911	478,945
未払法人税等	34,732	92,884
賞与引当金	50,553	53,325
資産除去債務	—	2,130
その他	216,082	225,635
流動負債合計	3,012,786	3,173,121
固定負債		
長期借入金	491,380	436,588
退職給付引当金	66,947	66,455
役員退職慰労引当金	429,760	482,422
資産除去債務	48,071	45,074
その他	162,377	176,246
固定負債合計	1,198,537	1,206,787
負債合計	4,211,323	4,379,908

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	516,922	516,922
利益剰余金	2,133,358	2,167,419
自己株式	△416	△449
株主資本合計	3,124,264	3,158,291
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△362	△70
為替換算調整勘定	△2,172	△1,928
その他の包括利益累計額合計	△2,534	△1,999
少数株主持分	4,554	2,486
純資産合計	3,126,284	3,158,778
負債純資産合計	7,337,608	7,538,687

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	5,699,976	4,940,342
売上原価	2,927,654	2,076,586
売上総利益	2,772,321	2,863,756
販売費及び一般管理費	※1 2,311,726	※1 2,562,909
営業利益	460,595	300,846
営業外収益		
受取利息	245	106
受取配当金	537	729
貸倒引当金戻入額	22,479	261
その他	2,959	1,433
営業外収益合計	26,221	2,531
営業外費用		
支払利息	10,515	7,793
シンジケートローン手数料	3,017	3,063
その他	5,945	2,384
営業外費用合計	19,478	13,241
経常利益	467,337	290,136
特別利益		
負ののれん発生益	—	1,699
特別利益合計	—	1,699
特別損失		
固定資産除却損	1,483	348
減損損失	3,054	1,727
投資有価証券評価損	—	6,337
特別損失合計	4,537	8,413
税金等調整前四半期純利益	462,800	283,422
法人税、住民税及び事業税	26,517	86,630
法人税等調整額	211,682	63,936
法人税等合計	238,199	150,567
少数株主損益調整前四半期純利益	224,600	132,854
少数株主損失(△)	△1,423	△2,172
四半期純利益	226,023	135,027

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	224,600	132,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△274	291
為替換算調整勘定	△219	348
その他の包括利益合計	△493	639
四半期包括利益	224,106	133,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225,596	135,562
少数株主に係る四半期包括利益	△1,489	△2,068

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	462,800	283,422
減価償却費	102,283	91,951
減損損失	3,054	1,727
負ののれん発生益	—	△1,699
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△22,612	△466
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,447	1,871
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9,435	△491
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	49,011	52,662
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	6,337
受取利息及び受取配当金	△782	△836
支払利息	10,515	7,793
売上債権の増減額 (△は増加)	37,799	109,715
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△26,084	△5,158
仕入債務の増減額 (△は減少)	△22,646	△151,951
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,484	7,264
その他	30,290	36,347
小計	643,996	438,489
法人税等の支払額	△19,269	△24,724
営業活動によるキャッシュ・フロー	624,727	413,765
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△30,000	△30,000
有形固定資産の取得による支出	△15,013	△74,505
有形固定資産の売却による収入	3,458	—
投資有価証券の取得による支出	△1,548	△11,729
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	9,357
敷金及び保証金の差入による支出	△55	△36,062
敷金及び保証金の回収による収入	96,250	80,925
保険積立金の積立による支出	△25,779	△25,779
利息及び配当金の受取額	782	836
その他の収入	5,551	4,493
その他の支出	△3,695	△10,271
投資活動によるキャッシュ・フロー	29,951	△92,736
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△228,436	△169,684
リース債務の返済による支出	△11,262	△14,358
自己株式の取得による支出	△36	△33
自己株式の処分による収入	—	3,677
配当金の支払額	△111,471	△100,090
利息の支払額	△9,416	△8,001
財務活動によるキャッシュ・フロー	△360,622	△88,490
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,618	1,873
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	291,437	234,412
現金及び現金同等物の期首残高	692,772	906,776
現金及び現金同等物の四半期末残高	*1 984,210	*1 1,141,188

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(連結の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、株式会社ピエトロフレッシュサプライ（平成24年8月3日株式会社大八屋より商号変更）を株式取得により子会社化したため、連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ910千円増加しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
販売促進費	555,922千円	569,397千円
給与手当	612,564	595,928
賞与引当金繰入額	40,694	40,384
退職給付引当金繰入額	15,203	11,755
役員退職慰労引当金繰入額	49,011	52,662

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	1,024,917千円	1,233,611千円
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	△95,245	△155,847
預け金勘定	54,538	63,424
現金及び現金同等物	984,210	1,141,188

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	111,825	20	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	100,641	18	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食品事業	通信販売 事業	レストラン 事業	生産管理 事業	その他 (本社ビル 等の賃貸) 事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,773,765	337,395	1,582,429	934,060	72,326	5,699,976	—	5,699,976
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	974	974	△974	—
計	2,773,765	337,395	1,582,429	934,060	73,300	5,700,951	△974	5,699,976
セグメント利益	980,560	13,754	14,234	11,640	29,391	1,049,582	△588,987	460,595

(注) 1 セグメント利益の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は588,987千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食品事業	通信販売 事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等 の賃貸) 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	3,086,077	314,094	1,464,615	75,556	4,940,342	—	4,940,342
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	974	974	△974	—
計	3,086,077	314,094	1,464,615	76,530	4,941,317	△974	4,940,342
セグメント利益 又は損失 (△)	1,031,213	△2,149	35,901	36,735	1,101,700	△800,853	300,846

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は800,853千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 前連結会計年度にて日清オイリオグループ株式会社との生産管理契約を解消しているため、同事業セグメントを廃止しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)
1 株当たり四半期純利益金額	40円42銭	24円16銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	226,023	135,027
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	226,023	135,027
普通株式の期中平均株式数 (千株)	5,591	5,588

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月9日

株式会社ピエトロ  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小淵 輝生 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 松嶋 敦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ピエトロの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ピエトロ及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。